



# 鳥取こども学園 学園だより

第 48 号  
2020年12月1日

〇発行  
社会福祉法人  
鳥取こども学園

鳥取市立川町5丁目417番地  
電話 (0857) 22-4206  
http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/

題字 尾崎悌之助

## 逆境の時こそ基本理念に立ち返る

鳥取こども学園乳児部

院長 竹中成代



愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず。高ぶらない。礼を失せず。自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず。真実を喜ぶ。

すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。

それゆえ、信仰と希望と愛、この3つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。

(「コリントの信徒への手紙」第13章)

社会福祉法人鳥取こども学園は、キリスト教精神にもとづいて創立されました。その基本理念は『愛』です。

クリスマスおめでと〜ごいいます!!

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い生活様式が大きく変容しました。

例年であれば心躍るクリスマスシーズンではありますが、今年はいかがでしょうか？

春先から様々な催しが中止となり、毎年盛大に執り行っておりました「鳥取こども学園クリスマス祝い」も今年度の開催は中止となりました。来年度は開催できますことを心から願っております。

ただ、このまま中止で終わらせないのでが当法人の子どもと職員。祝いができないのであれば他にできることはないか？他に楽しめる方法はないか？と思案中です。新型コロナウイルス感染症防止策をとりながら、ホーム毎もしくはフ

ロック毎で子どもたちとともに楽しめる方法を編み出し、例年よりも盛大なクリスマス会になることでしょうか。

### 【マスク姿】

今やマスク着用は世界的な常識となりましたが、乳幼児にとってマスク姿の養育者とのコミュニケーションにどのような影響があるのでしょうか。

乳幼児は、養育者の表情を観察しながら、安心・安全を感じ取り、社会性を育み成長していきます。マスク姿で顔の半分しか見えない養育者は、乳幼児にどのように映るのだろうか？との疑問と心配が、現場の職員からも聞かれるようになりました。

「目は口程に物を言う」といった言葉があるように、日本人は、目元や雰囲気で感情を読み取る傾向があるようです。そういえば当院の子どもたちもじーっと目を見て、職員の伝えたいことや思いを感じ取るようにしている場面が日常的にみられます。

そうは言っても、乳児院は保育の場ではなく、生活の場であり、子どもにとっては家です。職員は、子どもと食事をとともにし、お風呂に一緒に入る時は、マスクはつけません。また、授乳、おんぶに抱っこ、添い寝など乳幼児の養育は密接があつてこそ成り立ちます。

コロナ禍の感染症対策として、職員のマスク着用、こまめな手洗いや手指消毒、換気、体温測定等の体調チェックなど、当乳児院の生活の中でも、職員と子どもたちが一緒になって取り

組んでいます。マスク着用のもどかしさを抱えながらも、新しい生活様式を取り入れた日常を大事にしたいと強く思います。

### 『乳幼児総合支援センター構想』

家庭養護の推進と施設の小規模化・高機能化を強く求める「新しい社会的養育ビジョン」(2017年8月)は、施設現場に強烈なインパクトを与えました。それぞれの現場が揺らぎを抱えながらも、令和2年9月には「鳥取県社会的養育推進計画」がまとめられ、当法人としての今後10年の目標と具体的な取り組みも示されました。

一方で、全国乳児福祉協議会は、このような社会的要請に応じるため、「乳幼児総合支援センター(仮)」としての役割を担うことを提言しています。提案された6つの乳児院の機能は、これまで乳児院と家族や里親が、子どもの育ちを繋ぐために積み重ねてきたことの整理であり、その充実には、日々の養育をしつかりと支える拠点機能が大切とのこと。今後乳児部としては既に取り組んでいることに自信を持ち、新たな取り組みについては、行政側の理解と協力を求めています。

鳥取こども学園は、長い歴史の中で、小規模かつ家庭環境での養育に力を注いできました。当乳児院においては、その養育環境の中で、子どもが子どもらしく泣いたり笑ったりぐずったり、自由のびのびと自己表現できるように、子ども主体の関わりを養育の軸としています。先が見えない厳しい状況である時こそ法人の基本理念に立ち返り、目の前の子どもたち、法人に関係するすべての方々とともに、一人ひとりを大切に丁寧に寄り添う日々の積み重ねを大事にして歩んでまいりたいと思えます。

今後みなさまのご理解、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

# 愛はいつまでも絶えることがない

(コリントI:13-8)

理事長  
藤野興一 記

## 1 鳥取子ども学園は、キリスト教精神に基づいて創立された。

①創立以来、何らかの事情により家庭で生活できない子どもたちの「家」として、115年間一日も休まず歩み続けてきた。

②子ども達は礼拝を守り、職員も毎朝礼拝形式の朝会を続けてきた。百年以上続いてきた学園(育児院)の文化としての礼拝は、丸山の学園墓地も含めて大きな霊的財産であり、「愛」の文化である。

## 2 子ども・若者が、新たな闘いの先頭に立ちつつしている。共に歩みたい。

①2015年4月、「課題と将来像」実現により、40年近く動かなかった施設最低基準が大きく動いた。職員配置は一对一レベル、家賃補助は実費支給、大学等への進学も措置費対応となり、都道府県等が認めればみな可能となった。

②だが2017年8月の「新ビジョン」登場により、その実績を全て反故にしようとしている。反故にさせない闘いが必要であり、子どもたちの居場所と日本の優れた福祉文化を守らねばならない。

③コロナウイルスが、自然や心より目先のお金や便利さを追い求めてきた価値観

の転換を迫る中、世界中の子ども達が未来に向けて発言し、闘いの先頭に立ちつつしている。今年9月に79才を迎えた私も、子どもや若者と共に歩みたいと願う。神の「愛」を信じつつ。

## 3 子どもの権利条約は

①第一次、第二次大戦のような悲劇を二度と繰り返さないために、「子どもは権利行使の主体者である」ことを高らかに宣言した国際条約である。

②1978年ポーランドから提案され、1989年11月20日に国連で採択され、1994年4月、158番目に日本が批准した。

③ゲッターで、2000人の孤児達を養い、子どもが裁判長の裁判所、子ども議会、子どもの法律を作り、職員や孤児たちとトレ布林カ殺人工場に消えたコルチャックのことは、アンジェイワイダ監督の映画「コルチャック先生」に克明に描かれている。是非観てほしい。

## 4 カナダに学び、日本に子どもアドボカシーを推進する取り組み

①カナダとの交流を踏まえ、2018年7月金沢で、2019年8月鳥取で、「全国インケアユースの集い(日本キリスト教児童福祉連盟)」を開催し、オンタリオ州議事堂で行われた公聴会のような活動が、日本でも実現可能なことを確認した。

②当面は鳥取県で、カナダの「子どもアドボカシー」を学んだユース5人、職員6人で構成する運営委員会が組織したHope & Home(鳥取県児童養護施設協議会)を拡充し、真に子ども・ユース達のものとするために、全国展開して改革につなげるべく10月24(土)〜25(日)の合宿を実施した。

③高校生7名、ユースリーダー6名、引率職員5名、スタッフ6名、合計24名の参加で素晴らしい合宿となったこと。特に2015年第1回高校生トロント交流会に参加してプリティッシュコロンビア大学をこの度卒業して帰郷中の学園OBをはじめ、6名のユースリーダーと6名のスタッフの活躍は素晴らしいものだったという。

## 5 アーウィンが所長をしていたオンタリオ州児童青少年アドボカシー事務所やライオンズ大学との関係では、

①鳥取大学とライオンズ大学との間に、三年間の交流研究協定が結ばれ、「子どもの権利最前線 カナダ・オンタリオ州の挑戦」を畑千鶴乃+大谷由紀子+菊池幸工共著、オンタリオ州児童青少年アドボカット アーウィン・エルマン所長と元全国児童養護施設協議会会長 鳥取子ども学園理事長 藤野興一が推薦する形で出版された。

②出版直後の2019年5月1日、ダグ・フォードオンタリオ州首相(20

18年6月誕生)現在に至る超右派政権から突然、トロントの中心街にある「アドボカシー事務所」を「オンブズマン事務所」に明け渡す命令を受け、閉鎖されたことから極めて貴重な本となった。

## 6 「鳥取みどり園の認定子ども園移行に伴い、築31年の給食室改修工事にご支援を！」

①保育所鳥取みどり園が1951年の創設から来年4月1日に70周年を迎える。その節目の年に鳥取みどり園を「幼保連携型認定子ども園」に移行させ、(1)就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する(2)地域における子育て支援を行うという大きな2つの機能を更に充実させることとした。

②コロナ状況下、建設から31年が経つ給食室の改築が必要となり、建物の拡充はもちろん、専用の調理機器も新たにするため、総事業費は約7,000万円を予定している。制度のみでは賄えないので、皆様のご支援をお願いしたい。

寄附については最終頁に掲載している。是非見ていただきました。それに基づいて、何とぞご支援・ご協力を賜りたい。

児童養護施設

# 鳥取子ども学園

## 3年目のホーム行事を通して

つくしホーム 児童指導員  
城下 唯

つくしホームは、10月中旬にお隣のごすもすホームと一緒にバンガローにホーム行事で泊まりに行きました。BBQでお腹一杯食べた後はみんなで肝試しもして、2日目には公園に遊びに行ったりご飯を食べに行ったりと、ホームみんなで思いっきりたくさん遊んだ2日間でした。

私はつくしホームの職員として今年で3年目ですが、今回のホーム行事でも私がつくしホームに来たばかりの時にはまだホームでも年下だった子も、今ではふとした場面で年少の子の面倒を見てくれることがありました。そうかと思えばユニークで可愛らしいところは変わっていないと感じることもあり、子どもたちの成長や変わらない良い所も感じることもできました。

つくしホームは今年度に入ってから新たな仲間も迎えて、つくしホームらしく賑やかに生活しています。時には子ど



も同士で衝突したり、相手へ自分の気持ちを伝えるときにきつい言い方をしてしまったりすることもあります。それでも結局仲が良く、みんながそれぞれの個性を何だかんだと言っても受け止めあっている優しい子どもたちが生活しているホームだと改めて実感したホーム行事になりました。今後も喧嘩や衝突はもろろあるでしょうが、つくしホームのみんななら何かあっても乗り越えることができると思いますし、私もこれからも子どもたちと一緒に成長していきたいと思

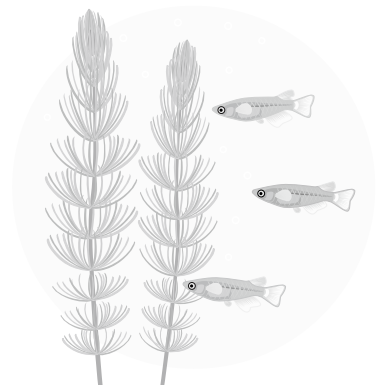
## メダカとさくら

さくらホーム 児童指導員  
門脇 弘道

高校生から年長まで5人の子どもたちが生活するさくらホームに新しい仲間が増えました。この夏、子どもと職員と川に涼みに出掛けた際、メダカを捕まえたのです。それも1匹や2匹ではなく30匹以上捕まえました。捕まえる際には子どもも職員も大はしゃぎです。捕まえたは良いものの、メダカはホームの皆で飼うことにしました。水槽やポンプ、えさや砂利を用意し、メダカが生きられるよう準備しました。30匹以上もいるのです



から金魚鉢ではかなり窮屈なため大きめの水槽を用意しました。子どもたちは当番や順番を決めることなく自ら進んで気にかけて、様子を見て餌をやり、お世話をしています。水槽の水が汚れると子どもたちと職員とできれいに掃除し、栄養のある水に入れ替えます。毎日欠かさず子どもたちはお世話を続け、飼い始めて3ヶ月経とうとしています。飼い始めてから1匹も減ることなく、30匹が毎日ゆっくりと泳ぎ、ご飯を食べ、遊び、大きなケンをすることなく仲良く1日1日を終えています。毎日変わらす気にかお世話をしてくれる子どもたちの愛情をメダカも感じ取っているのでしょう。さくらホームの子どもたちは毎日、こんな風にホームで過ごし幼稚園や学校に行き、帰ってくればご飯を食べ、遊び、大きなケンをすることなく仲良く1日1日を終えています。



### 繋がりを育むホームの文化って？

ふじホーム 保育士  
小谷 祐司

鳥取ごども学園には、子どもたちが生活を送る家（ホーム）がたくさん建っています。それぞれホームの子どもと職員個性が織りなし、「各ホームの文化」と呼ばれるようになっていきます。

ふじホームは、幼児から社会人までの女子7名が職員と一緒に生活を送る家です。文化という言葉を使つたら、ふじホームの文化は「誰でも歓迎する」事でしょうか。人付き合いが好きな職員の考え方から、単純に来客において敷居が低い意味合いもあります。ただ他にも、子どもたちが多くの人と関わりに触れることで、多くの刺激や繋がりが生まれるメ



リットも考慮しています。ここで子どもたちが将来の夢を見つれたり、実現するためにはどうすれば良いのか、それは意外とほんの近くにヒントが隠れていると信じています。見つけるきっかけだったり、助けてくれる人は、たくさん関わりから生まれやすいものです。

さて、硬い言い分はここまでにして…ウエルカム精神で誰かを招いて企画を考えた時、お祭り騒ぎも好きなふじホーム。今では子どもたちから「こんな事やってみたい！」とアイデアを出して、ワクワクするのはむしろ職員の方。「よしーやってみよう」と即答。何よりも生活は楽しみに満ちている方が、ホームの雰囲気も明るくなりますし、「明日もがんばろう」となっていますよね。毎日を楽しんで！

### 乳児院 鳥取ごども学園乳児部

#### 子どもをより理解する、 ということとは

セラピスト 西上 恵理

乳児部では、今年度からケースカンファレンスにPCAGP（ピカジップ）法を取り入れています。

月に1度のケースカンファレンスでは「ホームや担当職員への愛着がどう育まれているか」、「気になる行動にどう向き合うのか」等が議題の中心となります。この課題に対して、ホームや各専門職、スーパーバイザーが様々な視点から意見を出し合い、新しい取り組みのヒントや支援方針が導かれていきます。と同時に、子どもが一番近くで生活を共にする職員は「今はしんどいけど、もう少し頑張ってみよう」、「日々の積み重ねが大事なんだなあ」と、子どもと向き合う力を得る経験をしてきました。

しかし、紙面上の情報で課題そのものにとらわれて検討するだけでは解決できないものもあるという事に気づき始めました。日々の養育は予想できない事の連続です。職員はケースカンファレンスで

導かれた「こうありがたい」という支援が  
できずに葛藤を抱えます。また、子ども  
の変化はすぐにはおとすれず、出口の見  
えない状況には変わりありません。だか  
らこそ、PCAGP法を取り入れてみ  
よう、と思えました。

PCAGP法では、ファシリテーターが進行役となり、全員が発言できる  
ように順番を決めて進めていきます。ま  
ず皆で円陣を作つて座り、PCAGP  
法のポイントとグランドルール、手続  
きを確認してからスタートします。これ  
までのケースカンファレンスでは子ども  
の基本的な情報が配られますが、PCA  
GP法では、事例提供者も含めエピ  
ソードが3〜4行程度（検討したい内  
容）の紙があるだけです。その少ない情  
報をもとに、参加者は『この子はどんな  
子なんだろっ』とイメージを膨らませて  
いきます。そして、どのような情報があ  
れば問題を解決する糸口を見つけたすこ  
とができるのかを参加者が感じはじめま  
す。この作業そのものが子どもを理解し  
ようとする第1歩となるのです。事例提  
供者は参加者からの質問に対して日常の  
子どもをイメージしながら答えていきま  
す。もちろん、参加者から質問された事  
の中には「把握してないっ」、「わかりま  
せん」と言わざるを得ない場面もありま

すが、それはそれでいいのです。これもまた、大切な情報だと気づくきっかけとなるからです。



さて、PCAGIPを進めていくと、最初は戸惑いや発言に緊張を感じていた参加者も、この事例にのめりこんでいきます。このプロセスを通して、参加者は、自分自身がどのような気持ちで、子どもやこの事例に向き合っているのか、という感情に気づく事になります。参加者の一人がその気づきを言葉を詰まらせながら語り、皆がその声に耳を傾ける場面もありました。このように、参加メンバーとの相互作用によって、毎回、その時、その回でしか感じる事のできないプロセ

ス<sup>\*</sup>を体験しています。

実際、参加者の一人は『より深くまで子どもの事を知り、考え、見る事ができると感じた。今までの関わりの中での困り感や気になることに対し、職員のことを安心した環境の中で発言でき、様々な視点からの意見も聞け、思いを共有する事ができた』という感想を語ってくれました。

普段、子どもたちと一緒に生活していると様々な感情が生じてきます。自分自身の気持ちをみて見ぬふりをするのではなく、この感情は何なんだろう、なんでそう感じてしまうんだろう、という事に少し焦点を当てて考えてみると、また違う視点が生まれてきます。

「子どもをより理解する」という事は、子どもの状況や様々な視点からのヒントを得るだけではなく、その問題に対する自分自身の気持ちや感情に気づき、自分の気持ちも含めて理解していく事が大事なのではないか、とPCAGIPを通して感じています。

\*1 PCAGIPの定義 事例提供者の提出した簡単な事例資料をもとに、ファシリテーターと参加者が協力して参加者の力を最大限に引き出し、その経験と知恵から事例提供者に役立つ新しい取り組みの方向や具体的なヒントを見出し、いくプロセスを学ぶグループ体験である。

\*2 ポイント

- ・プロセスを尊重し、結論が出なくてもよい。事例提供者のヒントになることがあればよい。

\*3 グラウンドルール

- ・事例提供者を、被告にしないこと、批判しないこと。
- ・記録をとらないこと。

\*4 手続き

- ・発言者は順番を決めて、1人ずつ順番に発言していく。1問ずつが原則。

文献 村山正治・中田行重(2020)「新しい事例検討法PCAGIP入門」パーソン・センタード・アプローチの立場から、創元社

### 鳥取子ども学園希望館

館長 花川 治 広

#### 出会いと別れ

今年も何人かの子どもたちとスタッフが希望館を旅立ち、何人かの新しい仲間が加わりました。

新しい夢を抱えて勇気をもって旅立った者、本人も仲間も不安を抱えながら次の進路に行かざるを得なかった者。いつも思いは複雑です。それぞれの新しい場所で根を張っていきけることを願っています。そして残った者は旅立った者からどんな事でも連絡が来るのを待っています。

す。繋がっていることこの安心の証です。

#### 新しい生活と不安

希望館では今年度5つのホームのうち3つのホームでスタッフの変更がありました。

希望館に限らずですが、年度の初めは子どももスタッフも、新しい出会いには不安いっぱいですが安心してやり取りができるまでにはお互いに大きな気苦労(ストレス)があります。

何人かは気心の知れたスタッフや仲間が巣立っていった「不安」や「寂しさ」を無意識の「怒り」に変えて、新しいスタッフや自分自身にぶつけてしまっています。

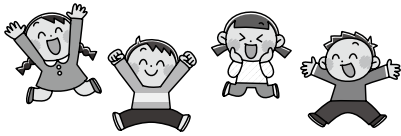
それは生活の何気ない部分にはつきりと表れてきます。今まで整理されていた衣服が無造作に置かれていたり、トイレやお風呂のタオルが何となく汚れていた、食品や食器が流しに残っていたり・・・。

#### 今こそ生活を整える

希望館では「生活を整える中で回復していく」ことを大切にしています。新しい仲間として馴染むまで粘り強く日々の営みを、一緒に積み上げていく毎日です。試練の季節です。

自分でも理由の判らない不機嫌に苦しんだり、傷つく言葉や態度を浴びせられ





4歳児…椅子取りゲーム

◎つき組(4歳児)  
 クラフスのみんなでなぞなぞをしてる時  
 「ゆ(読)んでも、ゆ(読)んでも返事  
 をしないものは？」  
 とこの問題に  
 「はいーはいーぼーっとしている人!!」  
 と自信満々に答えていました。(答え  
 は・・・本です。)



5歳児…だるまさんがころんだ

◎ほし組(5歳児)  
 畑の草を抜いていると、進んで一緒に  
 抜いてくれる、ほし組さん・・・。  
 かぶれやすい友だちに手袋を貸してあ  
 げると・・・  
 Aちゃん「なんでBちゃん手袋してる  
 だ？」  
 Cちゃん「だってBちゃんはエネルギー  
 だけだが」  
 Aちゃん、Bちゃん、保育士「・・・?!」  
 もしかしてアレルギー??

診療所  
 川口の発達クリニック

樹々とその剪定に学ぶ

川口孝一

この夏園内の樹々の散髪(剪定)をあ  
 る業者さんにしていただきました。「学園  
 には貴重な樹がたくさんあるので、大切  
 に守って欲しい」と言う樹々に対

する熱い思いから、剪定講習まで我々学  
 園職員にして下さいました。私も2回の  
 内の1回に参加することが出来ました。  
 講習が始まって5分も経たない内に、講  
 師のスタッフさんとお話に引き込ま  
 れていきました。それは、私が熱い想  
 いを持った職業人が好きなことと、「剪定」  
 に子どもたちの関りに通じるものを感じ  
 いたからです。影響を受けやすい私は、  
 講習が終わる頃には「弟子入りしてもつ  
 と深く学びたい」と言う思いになり、そ  
 の数日後にはホームセンターで剪定バサ  
 ミとカーブ鋸を購入していました。

多動症の私は子どもの頃から高い所に  
 登るのが好きで、タンスの上や屋根の上  
 (屋根の上で寝そべって空を眺めたり、  
 蔓の波を渡ったり)、学校の校庭の樹や

木造校舎の梁にも登っていました(怒り  
 れませんでした)。老いてきた今も、登  
 りたくなる衝動は変わりません。その様  
 に樹に親しんできた私ですが、(名前を  
 覚えるのが苦手なこともあり)園内で名  
 前の分かる樹はイチヨウとメタセコイヤ  
 位です。この度の剪定講習のお陰で園内  
 にも色々な種類の樹があることを知り、  
 意識してそれらの樹々を観ることが出来  
 るようになりました。

剪定する前に、今から剪定しようとする  
 樹について十分知っておく必要がある  
 ようです(自然の中ではどんな環境に生  
 えていたのか?木材としては何に使われ  
 るのか?等)。自然の中に生える樹々は、  
 樹々自らが自らの枝を剪定しながら成長  
 していくそうです。そんな樹を違つこと  
 ろに移して育てるのですから、人の手に  
 よる剪定の助けが必要になるわけです。  
 外観の樹形を切り揃えることから入ら  
 ず、自然の中で樹々が自らしてきたよう  
 に、先ずは風通しが良くなるように、養  
 分を効率よく利用できるように、内側に  
 ある枝を折んで丁寧に伐って(伐り方を  
 間違えると、そこから『枯れ』が入って  
 いくそうです)、本来のその樹らしく  
 育てて行くように剪定していくのだそう  
 です。基本は観る者のための剪定ではな  
 く、樹々のための剪定でなければなりま

せん。結果的に樹々が生き生きと育てば、観る者にも喜びを与えてくれます。子どもたちとの関りも同じだなあと感じました。

散髪し終えた樹々たちは本当に見違える位、生き生き伸び伸びとしています。園庭を歩く時、樹々たちの声が聴こえるようになりました。私も声を掛けるようになりました。樹々たちは、これから多くの子どもたちの成長を見守ってくれらるだろうと思います。

児童家庭支援センター

子ども家庭支援センター「希望館」

新型コロナウイルスと日常

繋がり

松本 史 哉

新型コロナウイルスの影響で、これまでの楽しみだった県外への旅行がなかなかできなくなりました。自分にとって旅行は、観光地を回るのも楽しみの一つですが、その地元の人と繋がって、色々な話をする時間が何よりの楽し

みでした。そのため、そういった楽しみがなくなり、誰かと話をせず過ごす時間は、改めて人と繋がって何でもない時間を過ごすことの大切さを感じさせてくれる日々でした。

ただ、これから以前のよくな生活に近づき、誰かとの繋がりが当たり前になっていくことで、繋がりをめんどくさく感じたり、鬱陶しく感じたりすることがあると思います。そのなかで、今回の経験から人との繋がりが当たり前ではないというところがよく分かったので、改めて、人と繋がれること、出会うことを大切にしていきたいと思いました。

楽しいを一緒に

滝河 真理

コロナウイルス感染対策が日常になってきていて、今までと違う方法で気持ちのリフレッシュをしないといけないようになってきていると思います。子どもたちからは、家の中ですることがゲームをするしかおもしろいことがない、という声も耳にし、日常生活に影響が出てしまっているともあると思います。また、ゲーム以外にすることを考えても、親御さんも共働きの当たり前になり、日常生活を送ることで精一杯になっているご家庭もたくさん

あって、こちらから一緒に過ごす時間を確保してみてもいいでしょうか、とお願いするのが毎回申し訳なく感じます。どうしても、無理のない方法で、楽しく日々を送れるのだからと日々考えます。家族の中で少しでも笑いがある時間があるといいなと思います。ゲームをするにしても一緒にゲームする等でもいいのかなど私は思います。つまり何か「楽しい」を一緒にする時間が少しでもあると気持ち少しほっとするのかなと思います。このような状況の中で何をすることがその子やご家庭にとっていきいきできることになるのかと考えながら日々皆様とお会いさせてもらっています。

ご褒美

岸田 有加

コロナの流行により、多くの人が昨年とは違う生活を送ってられると思います。見通しのたたない不安や、ストレスを発散しようと思っても行動の制限を意識して、なかなか気分が晴れない状況があるとあります。

いつも通りのことをしているのに、「不安やイライラが多い」「気持ち落ち込みやすい」「頑張りたいけど思うように体が動かない」といふことはありません

か？これはいつもとは違う気を張っている状態に、普通の生活を送っている心の疲れの蓄積だと思っています。

このような普段とはまた違う日常を送る負担は大人だけではなく、子どもたちも敏感に感じています。このよくな時、小さなことにも「よくやっているね」と言葉にして、大きなケーキをご褒美にしてもいいくらい、毎日の生活を送る自分や子どもたちに「よくやっているね」と思ってもらってください。

それでもなかなかご褒美をしてあげられないと思われる方は、一緒に心の休養や整理の時間に足を運んでみてはどうでしょうか？

※子ども家庭支援センター「希望館」では、家族・子育てについての悩みや、子どもに関するあらゆる相談に応じています。相談料は無料です。

○電話相談

月曜日～金曜日 朝8時30分～夜12時  
(緊急の場合は、休日、祭日、時間外も24時間対応)

○来所相談

開所時間 月曜日～金曜日 朝8時30分～夕方5時30分

専門の相談員が対応します。



### 鳥取県里親養育包括支援事業 里親支援とつくり

#### 共同体による子育て

所長 遠藤 信彦

里親さんは、保護を必要とする子どもを自らの家に預かりますので、預かられた子どもは、地域の一軒家の、まごころとなき「ひと家庭」の中で育つことが出来ます。しかし、冠婚葬祭などのライフイベントで里親さんがどうしても家を空けなくてはならないとき、この、ひと家庭の良さが一変し、養育者の不在が問題となります。ましてや、病気や怪我等による長期入院といった不測の事態では、問題がより深刻となります。施設であれば、職員のフォーマーションを工夫するなどの対処が可能です。里親の一軒家ではそれがありません。

このような時のために『レスパイト』という制度があり、子どもをいっことき、他の里親さんや近くの施設に預けることが出来ます。しかしこの『レスパイト』の利用を多くの里親さんはちゅうちょされます。と言いますのも、せっかく自分の家で安心して暮らしている子どもを、

いっときとはいえず、他の場所で寝泊まりさせるのは忍びないと思われるからです。



この気がかりを解決する取り組みが、アメリカのいくつかの州で行われています。ワシントン州シアトル市発祥の『モッキンバードファミリーモデル』という取り組みでは、近隣の里親家庭10軒ほどが共同体をつくり、この集まりを「コンステレーション(星座)」と呼び、星々のように点在する家庭の中心に「ハブホーム」という家があります。この家にはベテランの里親さんが暮らし、コンステレーションの里親子たちがいつでも泊まりに来られるように、空き部屋と空きベッドを整えています。困りごとの相談にのり、町内や支援者、行政との調整役もつとめるなど、いわば、本家や実家のような味わいがあります。車輪の中央部品「ハブ」の名の通り、この家を軸として数軒が集い、四季折々のつごごどに、誕生会やバーベキュー大会、ハイキ

ングなどを楽しまします。普段から顔なじみとなり、人柄を知っていれば、「コンステレーションの子どもたちは、不測の事態に際しても「あのおはちゃんならお泊りしてもいい・・・」と思えることでしょう。



自分の子ども時代、いとこ達が泊まりに来る祝祭日や、近所のおじさんおばさんに可愛がってもらえる町内会行事を本当にこころまちにしています。現代社会は、ご近所つきあいや親戚づきあいがどんどん希薄になっています。人づきあいの手間が減ることは、一見、快適なようですが、地域や親族を頼ることができない子育てに、不安を感じられる親御さんもあります。こんな時代だからこそ、保護された子どもを預かる分野は、共同体による子育て文化の再生に、つとめて取り組まなければならないのかも知れません。

### 自立援助ホーム 鳥取フレンド 鳥取スマイル

#### 退居後の支援について

鳥取フレンド 寮長  
内藤 直人

鳥取スマイルでは今、6名の入居者が生活しています。そのうち、数名は今年度中の退居を目指し、新たな仕事を探したり、運転免許証の取得のため自動車学校に通ったりして、その準備を進めているところです。また、鳥取フレンドも今年度だけで、すでに3名が退居しており、一人暮らしを始めた人やグループホームなどに移行した人など様々です。

自立援助ホームの世界では「退居してからが本当の勝負」といことばがあります。アフターケアは入居しているときよりも複雑な問題が多く発生し、そのことに対して複数の支援者と協力をしながら立ち向かっていくことがほとんどです。今年度出た人たちも例にもれず、様々なことが発生し、日々、多くの支援機関と連携をしながら対応をしている状況があります。多くの場合、就労や基本

的な生活習慣など入居中はできていたことが、生活環境が変わると途端にできなくなってしまうということが起こってしまいます。支援者側は入居中にできていたので、環境が変わっても継続してできるものだと思うってしまっているのですが、実際はそうではないことが少なからずあるように思います。そういった意味では、主体的に生活をする、ということに対して十分な支援や関わりができていなかったと日々反省をするばかりです。

退居後の支援は問題の種類も多岐にわたっており、就労相談や日常的な困りごとへの対応だけでなく、育児相談や弁護士相談が必要な案件まで様々です。最近生活が破綻してしまっ立て直しをするために、制度外で再入居の支援を行うこともあり、立て直しに長期間かかることもありました。

それでも何とか生活をしている人たちもたくさんあり、日々の相談はなくても、ときおり、ホームに顔を出してくれたり、連絡をしてくれたりするところしい気持ちになります。先日、少人数ではありますが、OBたちも集まって、ホームで焼肉をすることがあり、とても楽しい時間を持つことができました。また、退居後に何か問題があれば、近隣に住むOBたちがホームにやってきて、声掛け

をしてくれ、そういった彼らのつながりに誇らしいものを感じています。

正直、多くの問題がありながらも、現状が把握できているケースはまだよい方で、実際に今、どこで何をしているのか把握できないOB・OGたちもいます。そういった場合、我々でなくとも、だれかとよいつながりを持っていてくれることを願うしかありません。それは職場なのかもしれないし、生活する地域なのかもしれません。もし、皆さまの周りでも我々に関わりがあるかもしれない人がいましたら、暖かい目で見守っていただけましたら幸いです。

## 鳥取養育研究所

### 木と人と

副運営委員長 坂口 泰司

夏前に園内での木の剪定講習を習ってからは、剪定が楽しくなっています。講習会には法人から多くの職員が参加して、沢山の学びと影響を受けました。(これは、私だけでなく川口医師も同じだったようです。)

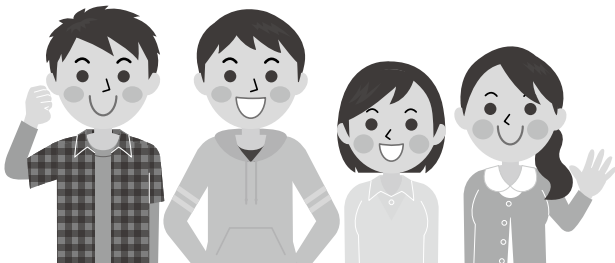
私は形から入ってしまう性格なので、剪定バサミも買い、作業時は作業服にお気に入りの黄色い帽子、そのような服装なので、通りかかる人には業者の人によく間違われてしまいます。剪定しているときは無心になれて、気持ちを整える為のいい時間になっています。

今までの剪定は上に伸びないように、刈り込んでしまっていました。それが、それは植物が生きようとして、一気に数か所から芽吹く↓それをまた切る↓生命力が亡くなり枯れる。そうではなく、適切な季節に適切な場所を切つてあげることで伸びようとする力も抑えることができ、あとは植物の力で自然に形が整ってきます。

す。また、どこを切つて欲しいのかを木の気持ちになって考えてみると切る場所が分かってくるようですが、まだその領域には達していません。

植物を通して、養育と通じる部分が多々あると感じます。どういつ大人に出会い、適切な時期にどいつ養育(子育て)を受け、どのように上手に自立(親離れ、子離れ)していくか。人も植物も、育つ、育てる、の考え方の基本は同じです。

私は、子どもたちの心に種を蒔き、どう育つていくのか見守る事しか出来ないと思つています。花が咲いても咲かなくてもいい、大きく健康に育つてもらいたいと願っています。



障がい福祉サービス事業

# はまむら作業所

## ありがとうを伝える

管理者 山岡 宏樹

「コロナ禍が長引いている令和2年10月。季節は春から夏、そして、秋となりました。私達は例年通りというか、毎日の日課を就労支援の事業所として施設内外でこつこつ実施しているところです。

ただ、いつもと違い、今年は特に「気がつく」と、10月になっていたように感じると、仲間の皆さんと話すと事が多いように感じます。今まで経験したことなかった非常事態宣言の中での事業所営業、5月連休以降の通常営業に戻るも、「手洗い・消毒・うがい・マスク着用、密を避けましょう…」の毎日。はまむら作業所利用のメンバーもスタッフも何となく窮屈な、何となくばたばたした世間の張りつめ感に、新しい生活様式に慣れていくのに少し疲れた一年の前半であったように振り返ります。

何かを忘れていたけれど、わからないうち、何かすっきりしない。気が付くと季節は秋になり、終息はしてないコロナ禍

ですが、感染予防も行いながら活動する日々。私自身、「事業所として、絶対に前に進んでいくんだ」「はまむら作業所の仲間の皆さんをコロナから護りたい」とその気持ちだけで今年は毎日を進んできました。

この学園だより作成にあたり、また、法人内の皆さんが先日作業応援に来て下さる中で、私自身の普段の姿勢に「ありがとうがなくなっている」「事にふと気がつきました。」「しまった…。」「相当の期間、相当の方々に「ありがとう」が言えてなかったのです。いつもそばにいる作業所のスタッフの皆さん、作業所利用のメンバー一人ひとり、法人のスタッフの皆さん、支援関係者の皆さん、近所の皆さん、作業提供して下さっている事業者さん、そして、家族。そばにいるのが当たり前になっていた事がたくさんあり、そして、ありがたい事を知らず知らずのうちに感じなくなっていました。忙しさを理由に感謝の気持ちがなくなっていました。「次は何だっけ」と物事をこなす事に重点をおいてしまっていたように感じます。その時々で発していた「言葉」、その時々私に向けられた「気持ち」は見落とされ、一方的な関係性になりがちになっていたのだと思います。二度と戻らない、戻れない時間を失ってしまった事

は、少なくとも対人関係の仕事に就く自分自身としては、大変な事だと思えます。

これから何ができるのか。まず、一日の活動終わりに感謝の気持ちを仲間のみなさんに伝えたいと思います。そして、気が付いた時に、その時々での皆さんに「ありがとう」の気持ちを伝えるようにしていき、自分自身の他者への関わり方の点検をし、毎日の業務にいかしていきたいと思えます。この事が、事業所の雰囲気にも影響してけると思いつき、また、個々の利用者の事業所での過ごし方にも関係してくると考えています。よく幼い時に「ありがとう」と「ごめんねさー」は大事だと多くの人に言われてきました。が、40歳を前にこの事を振り返り、しかも事業所の責任者としてできてない事を気付かされ、恥ずかしいように思えます。「ありがとう」を伝える「この積み重ねが、日々の活動の原動力になり、日々の人とのこの紡ぎが今後の個々の支援でも大事なんだと思います。

まず、皆さん「いつもはまむら作業所を支えて下さり、ありがとうございませう。」

事業所内保育施設

# うらなひんど

## あした、天気になあれ

保育士 由井 美知子

とつとも小さな保育所「とりっころん」で開所して一年半が過ぎました(9月現在)。開所当初、私は病後児保育担当の看護師として勤め始めましたが、今年の6月からは保育士として勤めています。御年70歳、おばあちゃん先生です。幸い、健康に守られて、毎日元気に出動しています。子育て経験、孫育て経験はあっても、保育士経験が全く無い私は、



中庭で色水あそび



近所の公園までお散歩

登園して来る子どもたちとの関わり方に戸惑い、悩み、反省することはかなりの毎日です。子どもたちの要求や思いを汲み取る難しさを痛感しています。「ごっこしてほしいの?」「わからならい」の連続です。でも次の日になると、「今日も頑張るっ!」「今日はいごい関わってみたいっ!」と自分に言い聞かせて出勤します。毎日同じようなことがなるので、「今日はいかな事があるかな?」と、内心ドキドキ、ワクワクしながら出勤します。

子どもたちは日々成長しています。ちみとした仕種を見るだけでも喜んでます。そんな子どもたちを見るのが、とても楽しいです。

遊びが中心の「ごっこ遊び」や「少々



園外保育でお弁当タイム

の曇り空なら、散歩や公園に出かけます。朝の公園は、いつも貸し切り状態です。思いっきり走り回る子、ブランコ大好きでいつまでも乗っている子(ウトウトし始めることも)、飽きることなく何回も滑り台を滑る子、砂場遊び、虫(蟻やバッタ、クマ等)を見つけて大はしゃぎする子、そんな姿を見ると嬉しくなります。室内では見られない成長の発見がたくさんあります。心の中で、「あしたも、天気になれば」と願います。子どもたちが喜んで通って来てくれる保育所でありたいと思います。そのために、職員ひとりひとりが、子どもたちを愛し、成長の手助けをしていかなければと心から思います。この「学園だより」は、12

月発行のようですが、12月と言えばクリスマス。コロナ禍の中ではありますが、「とりこころんど」の子どもたちと、嬉しいクリスマスを過ごしたいと思えます。

## ひだまり

退所児童等アフターケア事業

### 自立と愚痴と

所長・相談支援員

岡本 秀人

And Rose」という有名なジャズの楽曲があります(同名の映画の主題歌です)。お酒を手に「ごっこして悩みと望みは尽きないんだろ?」と言つストレスフルな歌詞と物悲しい旋律は、ジャズサークル在籍の未熟な大学生(かつての私ですが…)には消化しきれなかったのを記憶しています。

『退所児童等アフターケア事業ひだまり』は、社会的養護等を経験された方々の、退所後の就労/自立支援を行っている相談機関です。社会に出る前の方々への研修等も実施しています。難しく書くところのような感じですが、実際は『困った・悩んだ・ごっこしよう・分からないう』といったネガティブなお気持ちを伴う出来事に対応していく『よろず屋』です。どうぞお気軽にお越しいただき(メールもお電話も大歓迎です)、荷を下ろして下さいませ。

『酒やバラの日々(Days Of Wine

酒場での愚痴話はサラリーマンには付き物のようです(企業戦士たちのリフレッシュ法の一つでした)。例年ですと年末のこの時期、テレビで忘年会帰りのサラリーマンが映し出されたりしますが、今年はどうでしょう…。

『自立』とは「自分でできる」という能力と技能の集合体です。同じ読み仮名で『自律』という言葉がありますが、自分で考え自分で決めるという意思決定のプロセスです。この業界では『自律』を『自立』に含めて考えることが多いですが、私自身は分けたほうが分かりやすいと思っています。ですので以下、そのような感じで分けて標記します。

不平不満をどう表現するか、『愚痴の』もその一つで、『自立』した成人年齢の方の場合、お酒の力を借りるのも一法かと存じますが、お酒に溺れるのはよろしくなと思えます(自力での統制不能↓能力を欠く↓自立してない、ため)。

溺れてしまつて「アディクション」という治療の文脈に乗ることとなります。

大抵の方は自分で適量を弁えてらつしゃることと思いますが、適量を決めるプロセスが『自律』です。迷惑をかけない、世間様に後ろ指をさせられない…といった社会的な道徳律のファクターは『自分で決める』の基準になります。社会を知る、勉強する、人と交わり話を聞く、とつことはこの基準（社会的な常識）を設けるための学びになります。

先に挙げた映画『酒とバラの日々』のストーリーは大略こんな感じですが、『自立』と『自律』に示唆を与えてくれます。社会にはお酒に限らず、溺れかねない誘惑がたくさんあります。その中で自らを律していくことが、自立した大人に求められていることだと思います。

この場をお借りして、日頃より当『ひだまり』にご支援を下さるみなさま、色々とかかわりを持って下さるみなさま、そしてOB・OGのみなさまに御礼申し上げます。今後とも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



## 就労支援事業

### 再就職の岐路に立つ人に 寄り添いながら

事業責任者 北 農 佳 苗

就労支援事業の一環として、私たちは普段ハローワークの中に相談ブースを開設し、ジョブ・カード作成支援を行っています。

ジョブ・カード（以下、J・C）は公共職業訓練を受講する際に提出書類として必要な講座がある場合や、企業の採用試験で応募書類として必要になる場合があります。その際の作成支援をこちらで行っております。それだけでなく、J・Cを作成しながら自己理解や仕事理解をすることで今後の職業人としての生涯設計を考えたという方も利用されており、そのような方に対して面談を通し、支援させていただいています。

J・C作成支援を行い、相談者が今までの経歴を整理することで、これまで気付かなかった、自分の強みに気づくことが多くあります。ジョブ・カード作成といっても、何かカードを発行するのはなく、相談者との面談によりキャリア

プランのシートを作成する作業になります。

日々忙しい中で自分の人生やこれまでの経験などを振り返る機会は少ないのですが、相談者の方の多くはJ・Cを作成することで、自分を見つめ直すことができたりという手応えを得て帰られます。それがその人自身のステップアップにもつながっていくと感じます。



相談中の様子

今年度も上半期が終わり、振り返りを行いました。今年度の相談者の男女比は3：7で、年齢層は10代1%、20代21%、30代30%、40代23%、50代18%、60代以上が7%の構成でした。支援内容に対してのアンケートでは、支援が「役に立った」と思う方が94%、「まあまあ役に立った」と思う方が5%でした。J・Cを事前に作成する意義としては、「職務経歴、資格、免許等の棚卸により自分の考えが整理できた」が33%、「就業に関する目

標・希望を明確化できた」が45%、「中長期的なキャリアを考えるきっかけとなった」が10%、「能力開発の必要性を再認識することができた」が11%でした。

相談者の方から「自分一人でいろいろ悩んでいたことが相談したことでスッキリしました。」「今後のキャリア人生の方向性が見えてきました。」「今回のキャリアコンサルティングにより、自分を見つめなおす機会を持つことができ、自分自身を理解できました。」「というコメントを頂いた時が、この業務に携わっていて良かった！と思う瞬間でもあります。これからスタッフ一同が協力し合いながら、自己研鑽に励み、さらに多くの方々のお役に立っていただけるような支援を続けていきたいと思います。



# 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、  
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、  
下記のとおりです。  
心より感謝し、ご報告申し上げます。

## 寄 付 者 (R 2. 5.18 ~ R 2.11.11)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
岡 田 博 子	パルス電工(有) 清水 守	リベット・ワン	(株) 菜 の 花
日本基督教団 鳥取新生教会	蔵 本 美 知 子	畑 山 博 史	代表社員 弁護士 駒井重忠
藤 原 毅 芳	(株) ト リ ベ イ	熊 谷 和 紀	巻 田 豊
中 原 照 子	松 本 勲	松 下 暢 子	伊 藤 友 理 重
田 中 嘉 鶴 子	(有) 山 本 八 ウ ス 工 業	伊 藤 文 代 子	市 谷 成 子
スーメリー なつみ	入 江 順 子	伊 木 村 和 子	米 谷 食 品 セ ン タ ー
杉 森 忠 篤 子	田 中 耕 自 子	木 村 村 祐 子	岸 田 栄 子
中 本 久 美 子	佐 藤 道 男 子	中 嶋 哲 一 子	日 下 部 恵 子
柴 田 和 仁 子	田 中 宏 明 子	古 川 潤 一 子	常 田 享 朱 子
渡 邊 利 子	田 中 昶 二 子	半 田 卓 実 子	林 木 太 美 代 子
土 江 浜 代 子	(株) コ 夕 小 谷 憲 司	鳥 取 鶏 卵 販 売 (株) 淳 憲 子	若 岩 木 田 太 美 代 子
田 村 明 子	代表取締役	熊 谷 美 宇 太 郎 子	高 橋 昌 房 文 枝 子
田 中 俊 道 明 子	小 尾 山 下 中 田 福 伊 藤 伊 石 安 国 東 木 龍 杉 村 英 子	熊 勢 廣 伊 齋 熱 渡 渡 邊 健 次 子	高 濱 田 久 美 子
西 村 建 次 子	山 中 捷 義 邦 逸 夫 起 郎 子	伊 吹 藤 田 邊 健 次 子	滝 河 哲 郎 和 子
建 部 恵 子	山 中 捷 義 邦 逸 夫 起 郎 子	伊 吹 藤 田 邊 健 次 子	亀 本 良 一 子
田 賀 由 美 子	伊 藤 澤 田 信 弘 一 邦 裕 子	渡 邊 健 次 子	海 藤 川 和 子
アサヒナ (谷垣) 由紀恵子	伊 石 安 国 東 木 龍 杉 村 英 子	(株) 中 電 工 鳥 取 統 括 支 社 肇 子	西 伯 更 生 保 護 女 性 会 石 塚 桂 子
西 山 裕 子	安 国 東 木 龍 杉 村 英 子	木 村 鳥 取 更 生 保 護 女 性 会 坂 尻 恭 子	福 田 修 三 子
神 戸 直 末 子	乾 医 院 乾 俊 彦 子	鳥 取 更 生 保 護 女 性 会 坂 尻 恭 子	ブ ラ イ ダ ル 青 木 美 保 子
有 本 末 子	乾 医 院 乾 俊 彦 子	山 本 智 邦 子	代 表 取 締 役 青 木 美 保 子
(医) 乾 医 院 乾 俊 彦 子	竹 下 敏 子	小 野 村 安 泰 道 子	玉 木 敏 久 和 子
理 事 長 乾 俊 彦 子	竹 下 敏 子	武 井 本 林 督 子	前 田 俊 和 子
竹 下 敏 子	池 上 聡 一 昇 幸 彦 子	白 松 本 林 督 子	い し ど 歯 科 ク リ ニ ッ ク 院 長 石 戸 喜 正 子
竹 下 上 聡 一 昇 幸 彦 子	尾 崎 美 明 子	正 西 田 淳 子	上 嶋 純 裕 子
池 上 聡 一 昇 幸 彦 子	尾 崎 美 明 子	(有) 家 電 の き の し た 徳 子	田 村 裕 力 子
田 村 美 明 子	尾 崎 美 明 子	代 表 取 締 役 木 下 通 子	清 水 敏 明 子
尾 崎 美 明 子	尾 崎 美 明 子	前 田 悦 子	山 中 村 敏 艶 子
齋 藤 明 彦 子	尾 崎 美 明 子	中 村 匡 子	砂 川 晋 治 真 子
(医) 岡 本 小 児 科 医 院 子	尾 崎 美 明 子	岡 田 公 則 子	(株) 安 本 崎 芳 三 智 子
安 本 妙 育 美 津 子	(福) ミッドナイトミッションのぞみ会 理 事 長 木 下 宣 世 子	(有) エフエムエルサービス 代 表 取 締 役 下 田 哲 也 子	橋 詰 一 枝 寛 道 子
北 橋 本 女 壺 峰 寛 二 子	堀 内 苑 生 照 充 男 夫 子	日 海 通 信 工 業 (株) は や し 社 会 保 険 労 務 士 事 務 所 子	小 竹 原 本 正 道 子
美 川 康 教 子	武 田 信 照 充 男 夫 子	鳥 山 玲 子 恵 子	(医) 若 桜 柿 坂 医 院 草 野 雅 昭 子
磯 田 康 教 子	石 川 正 雅 夫 子	川 口 敬 恵 子	
タニグチ・ヘア・サロン 谷 口 義 明 子	(特非) Living in Peace 大 谷 恭 一 子		
小 原 知 子	福 寿 み どり 収 子		
安 本 良 武 史 子	村 上 悦 子		
岡 田 武 史 子	村 上 悦 子		
花 木 正 史 子	村 上 悦 子		

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
谷 島 伸 二 (株)ヤマネ機材 代表取締役 山根 茂 (学)愛真幼稚園 (医)きむら耳鼻咽喉科医院 理事長 木村 寛 濱 本 五 十 鈴 (有)岩田小型運送 福 島 庸 二 (株)信勝丸漁業 代表取締役 山岡寛人 竹 本 芳 宏 柴 田 妙 子 坪 井 志 津 子 原 雅 子 江 谷 孝 明 いきいき夢くらぶ チャリティー開催事務局 神 谷 夏 子 吉 田 由 美 子 前 田 厚 彦 代 坂 根 政 子 岸 田 洋 子 樹林舎 山田 恭 幹 喜 多 寿 美 一 松 田 寿 院 大 雲 院 (株)三協レンタル 藤 原 栄 治	藤 岡 真 弓 小 長 井 賀 與 市 谷 年 弘 鳥 取 トヨペット(株) 河 妹 宏 太 米 原 清 美 鳥取国府更生保護女性会 会 長 米 谷 令 子 浅 野 和 子 綱 島 健 之 リセツト 溝 口 熊 谷 務 鳥取東更生保護女性会 会 長 芝 岡 み どり 井 本 義 孝 秋 崎 る り 子 三 国 山 の 風 の 館 代 表 西 上 洋 治 (有)造園土木植清園 大 塚 福 子 大 沼 上 豊 三 中 里 晋 三 大 沼 尚 美 谷 口 尚 泰 俊 慎 方 学 成 緒 本 一 成 東 陽 介	川 崎 さ つ き 楊 輝 彦 子 本 間 佳 奈 子 関 口 大 輔 子 濱 田 さ ゆ り 堅 田 航 平 家 入 一 真 清 山 知 憲 高 橋 好 香 瀬 良 和 弘 早 樋 崇 宏 権 藤 加 奈 力 ソ ナ 福 野 田 眞 小 野 田 聖 子 曾 我 健 瞳 鈴 木 幸 三 尾 崎 寛 省 井 坂 史 周 (株)Feasible Path 佐 藤 圭 輝 子 村 山 洋 子 石 倉 友 里 香 田 中 拓 也 子 前 橋 京 智 子 高 幡 美 智 子 木 久 さ お り 珠 久 さ お り 北 地 弘 明	清 水 勇 希 大 山 頭 徳 小 田 切 貴 大 片 倉 夏 実 呉 眞 瑛 小 西 純 也 徳 永 李 奈 若 川 重 信 信 崎 謙 太 大 山 卓 也 井 上 洋 樹 田 中 あ か ね 力 ネ コ 力 ズ ミ 鳥 取 市 仏 教 会 米 子 信 愛 鍼 治 療 院 河 田 瑛 子 (株)岩田兼商店 天 徳 寺 山 中 友 子 佐 野 信 三 綜 合 印 刷 (株) 代 表 取 締 役 田 村 仁 美 影 久 眞 智 入 江 一 枝 植 田 望 山陰酸素工業(株) 鳥取支店 澤 田 孝 義 上 島 武 晴 無 名 氏

物 品 寄 付 者 (R 2. 5.18 ~ R 2.11.11)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
飴 山 弥 生 湯 原 宏 美 (株)たかくら新産業商品センター 代 表 高 倉 健 (一般)ともに 鳥取市児童館 常務理事 坂根政代 前 田 広 子 え が お (株) 認定NPO法人 アジアチャイルドサポート 鳥取中央ライオンズクラブ 村 田 篤 美 U F O 吉 方 店 U F O 秋 里 店 U F O 安 長 店 U F O 扇 町 店 オペレーションプレッシングジャパン 南 相 馬 サ テ ラ イ ト 白 川 元 気 浩 の 会	日本コカ・コーラ(株) 松 下 暢 子 (株)フレール館 出版本部 田 中 仲 雄 パンドラの箱鳥取店 西 村 友 恵 い さ み や 商 店 中 島 あ み 果 フ レ ー ベ ル 館 棚 田 栄 一 土 井 倫 子 前 田 広 子 中 村 艶 子 (株)ヤマネ機材 矢 部 友 理 子 a p b a n k (株)トータルデザインセンター 代 表 取 締 役 社 長 上 村 祐 貴 中 四 国 ア イ ス ク リ ー ム 協 会	明 治 安 田 生 命 サンヨーグループ総合事務所 奥 田 吉 春 米 沢 真 美 信 夫 正 規 鳥 取 地 区 B B S 会 N P O 法 人 白 う さ ぎ 林 昭 男 長 谷 川 正 昭 本 光 寺 山 田 美 枝 子 竹 内 清 大 雲 院 屋久島 東部茶生産組合 佐川急便(株) CRS推進部 リスクマネジメント課 竹 中 由 紀 夫 松 本 益 男 前 田 優 子	濱 中 里 美 理容ボランティア美染 スリーバー鳥取店 松 永 隆 夫 清 水 由 紀 子 山 本 光 範 福 田 眞 鳥 取 更 生 保 護 女 性 会 会 長 坂 尻 恭 子 ハ ー ン ズ 鳥 取 店 (株)モリサワ 大 浦 ひ と み 石 井 信 也 日本画グループ鳥 白岡文江 森 福 寺 依 藤 厚 子 ローソン 鳥取立川町店 無 名 氏

## クリスマス祝会の開催中止について

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は近県でもクラスター感染が発生するなど未だに予見が難しい状況です。この状況をふまえ、毎年12月に開催しております「鳥取こども学園 クリスマス祝会」を今年は中止とさせていただくこととしました。

楽しみにして下さっていた皆さまには申し訳ございませんが、なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 法人OB会(1月2日)中止のお知らせ

夏のOB会は、新型コロナウイルス感染症予防の為、中止としましたが、冬のOB会も飲食を伴うということで、中止としました。寂しい限りですが、県外在住のOB・OGの帰鳥を中止してはみませんので体調を確認しながら、是非顔を見せて下さい。皆様の健康を祈ります。

## 法人事務局よりお知らせ

### 1. facebook始めました。

社会福祉法人鳥取こども学園は、facebookでの情報発信を開始しています。

また、鳥取みどり園、とりっこらんども独自にfacebookでの情報発信を開始しております。

法人、施設、事業所の様々な情報をこのホームページともリンクしながらお伝えしていきますので、是非今後ともご覧ください。

「いいね！」いただくとありがたいです。

なお、今回のfacebookの公開にあたり社会福祉法人鳥取こども学園が管理するソーシャルメディアアカウントの運用ポリシーを定めました。コメント等への返信、コメント等の内容についての当法人の対応等を定めております。

詳細は法人ホームページの「社会福祉法人鳥取こども学園ソーシャルメディアアカウント運用ポリシー (<https://www.tottorikodomogakuen.or.jp/social/>)」をお読みください。

鳥取こども学園  
facebook



鳥取みどり園  
facebook



とりっこらんど  
facebook



### 2. オンライン寄付募集サービス『Syncable』による寄付募集を開始いたしました。

社会福祉法人鳥取こども学園は、創立以来、たくさんの方々からのご支援をいただき、子どもたちへの活動を紡いでまいりました。皆さまからの厚いお力添えに支えられて、今日に至っていることを深く感謝いたします。

この度、当法人ではパソコンやスマートフォン等でのオンライン寄付環境が充実していることに合わせ、オンライン寄付募集サービス『Syncable』

(<https://syncable.biz/associate/toriko01/>) による寄付募集を開始いたしました。

Syncableの当法人のページにアクセスしていただき、画面右下の「支援する」から『クレジットカードで寄付する』、

『寄付を集める(皆様ご自身で当法人へご寄付を集めていただくキャンペーンページを作成)』等の当法人への支援メニューを選択できます。

ご寄付と併せて、facebookやtwitterのアカウントをお持ちの皆様は是非「シェア」していただくとありがたいです。

私たち社会福祉法人鳥取こども学園がさらに歩みを続け、私たちの施設で出会った子どもたち、これから出会う子どもたちへの途切れることのない応援とご寄付をお願いいたします。



### ●従前どおり銀行口座へのご寄付は、下記へお願いします

法人本部：〒680-0061 鳥取市立川町5丁目417番地 鳥取こども学園内  
TEL 0857-22-4206 FAX 0857-23-0242

振込口座：郵便振替 01490-9-9106  
鳥取銀行本店営業部 普通預金 7645611  
山陰合同銀行鳥取営業部 普通預金 3422812

口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 藤野 興一

※なお、郵便振替は寄付金・後援会費共通口座となっておりますので、寄付金・後援会費のどちらかに○をしてご入金ください。

### ●後援会会費は下記へお願いします

振込口座：鳥取銀行本店営業部 普通預金 0405970  
口座名義：鳥取こども学園後援会 会長 村上 亜由美

#### 【お願い】

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただきますようお願い致します。今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。